

新棟(かえで寮)完成

理念

一人ひとりの立場で考え、
共に生きる豊かな社会を目指す

基本指針

- ・利用者に対して「サービスの質の向上」をはかります。
- ・地域社会に対して「地域包括ケア」の中心的な役割を担います。
- ・福祉専門職員として資質向上をはかります。
- ・透明性のある組織体制を強化します。



発行／社会福祉法人大野福祉会

発行責任者 柴山佳樹

〒912-0061 大野市篠座17-23
TEL(0779)66-3320 FAX(0779)66-3319
<http://www.oonofukushikai.jp/>

創立60周年を迎えて



救護施設 大野荘
施設長 柴山佳樹

昭和35年に県内唯一の救護施設として運営を始めて昨年5月で60年を迎えることができました。また記念事業として進めてきました救護施設大野荘の整備工事も国庫補助事業として実施することができ、今年6月26日に記念式典と合わせてかえで寮の竣工式を執り行わせていただきました。これまで当法人を支えてくださった諸先輩方々、また関係機関や関係団体の皆様方には心より感謝申し上げます。

法人の60年の歩みについては、記念誌「道しるべ」に纏めさせていただきましたが、改めて歴史の重みを感じております。救護施設として設置された大野荘は、当時県内に一千人といわれる精神薄弱者（知的障害者）の人たちの受け皿として運営を始めましたが、当時は支援するという時代ではなく共に生活をしながら保護監視をすることだったようです。またこの頃は障がい者に対する理解も乏しく、近隣住民に迷惑をかけていたこともあり、なかなか受け入れてもらえなかったようです。

社会福祉法の整備が進む中で、昭和52年になると知的障がいの方を支援する現在のむつみ園が設立され、大野荘も現在の地に新築移転して近代福祉施設として新しい支援体制をスタートしました。建物は共に鉄筋造りで全館暖房のほか各居室にテレビを完備されてお

り、当時としては快適な生活環境が整っており、利用者の方も徐々にその快適な生活に慣れていったようです。

それから40年が経過した現在では、精神障害者が多くを占め、さらに触法者や生活困窮者など障害種別も多岐にわたる、個別支援計画に基づいたきめ細かな支援が求められるようになりました。また長期滞留による重度高齢化が年々進んでいて、平均年齢は69歳を超えるようになり、以前はそれほど気にならなかったスロープや居室入り口の段差など生活しづらい生活環境の問題も大きくなってきました。

創立60周年を迎えるにあたって、施設の環境整備を掲げ居室のベッド部屋への改修のほか、新しくかえで寮及び浴室棟の建設ができ利用者の皆様方にとって安全で快適な生活環境の一部を提供することができました。建設に対して多大なるご支援を頂いた関係機関並びに関係団体の皆様には心より感謝を申し上げます。

いまだ収まらないコロナ禍の中、感染予防を継続しながら安心安全な施設サービスの提供を心掛け、職員一丸となり大野福祉会の事業推進に努めていきたいと思っております。

今後とも当法人にご支援賜りますようお願いを申し上げます。

記念誌



むつみ 十年のあゆみ

20周年記念誌

30周年記念誌「道程」

50周年記念誌
「共に生きる」

60周年記念誌
「道しるべ」

法人創立60周年記念式典 並びに かえで寮竣工式

昭和35年5月に設置運営から令和2年度で法人創立60周年を迎えることができました。令和3年6月26日に、かえで寮竣工式と合わせて大野福社会創立60周年記念式典を執り行わせていただきました。



かえで寮竣工式



令和2年度、かねてから要望していました、社会福祉施設等設備補助金の交付決定を7月に頂き、9月より居住棟及び浴室の建設工事に着工、令和3年6月25日に完成いたしました。

竣工式は、日頃ご支援をいただいている諸関係団体の方々を含め6名によるテープカットを行い、その後かえで寮の内覧会を行いました。

法人創立60周年記念式典

令和2年5月に、創立60周年記念行事実行委員会を立ち上げ、記念式典には諸関係機関や団体をはじめ、法人に関わる多くの方々にご出席を賜りたいと準備を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむなく式典を縮小して、開催させていただきました。



ご寄付いただいた団体

大野福社会父母の会
むつみ園保護者会
大野福社会後援会
大野福社会職員互助会

永年勤続表彰職員 (敬称略)

深美 幸代	加藤 博子
貝川 久幸	中山満守男
松田佐登子	山中 尚美



2人部屋



個室



ホール



洗面所



玄関

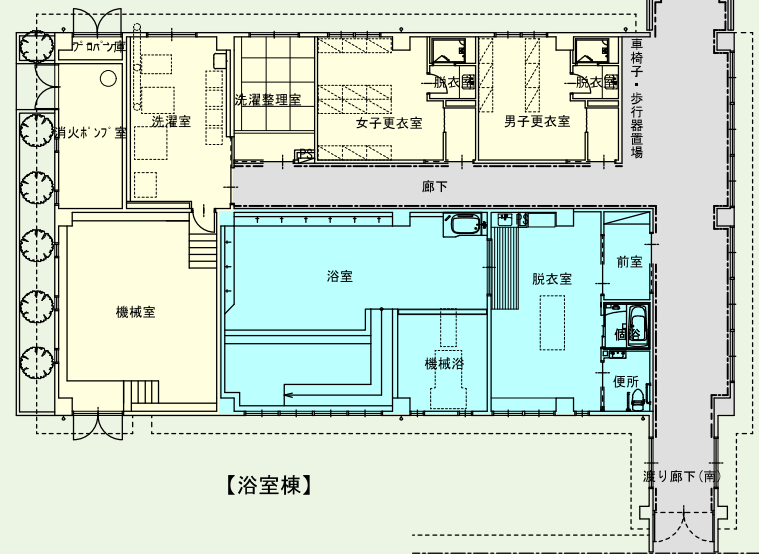


社会福祉法人大野福祉会 救護施設大野荘 [かえで寮・浴室棟 平面図]

【かえで寮】



【浴室棟】



相談室



支援員室

浴室



むつみ園 夏まつりメニュー



大野荘 夏まつりメニュー



今年度もふれあい夏まつりが中止となつてしまいましたが、8月4日に大野福祉会後援会より協賛いただき、花火を打ちあげました。また、少しでも利用者の方に喜んでもらえたらと、大野荘・むつみ園の昼食は「夏まつりメニュー」でした。

まだまだ安心して生活することは難しいですが、一日も早くコロナウィルスが収束し、皆様が健康で幸せに生活できますように…

花火 & 夏まつりメニュー



むつみ園

男子寮4号室 改修工事



男子寮4号室の改修工事を行い7月末に完成しました。どんな部屋になるのが楽しみで、何度も工事中の部屋を見に行く方もいらつしやいました。また、以前畳部屋を使用していた方の中には、慣れないフローリングの部屋で、床に座ってしまうなど戸惑う様子もありましたが、今ではすっかり慣れて、きれいなお部屋で快適に過ごされています。

むつみ園

自治会 七夕集会



7月13日に自治会行事で七夕集会を行いました。利用者の方の希望の多かった「七夕の紙芝居」と「短冊の願い事」の発表をする事となりました。「紙芝居は私が読みたい。」と希望された方がおり、当日は緊張しながらも、職員と一緒に紙芝居を読んでくださいました。読み終わると「お疲れさま」の声や、大きな拍手に少し照れくさそうにされていました。また、短冊には「コロナが落ち着いてほしい」や「早く買い物に行きたい」「織姫と彦星が会えますように」など様々な願い事が書かれていました。短冊の発表の後に美味しいお菓子を食べ、「お菓子美味しい」「楽しかった」と喜んでいただくことができました。これからも元気で、そして短冊に書いた願い事が叶いますように。



リサイクル室 塗装工事

よもやま



4月末リサイクル室の塗装工事を行いました。2週間ほどの塗装期間でしたが、その間は屋外にテントを張り、その中で分別作業やラベル取りの作業を行っていました。現在は、きれいで明るくなったリサイクル室内で快適に作業を行っています。今後もきれいなリサイクル室を維持していきたいと思っています。

よもやま

ぽん菓子

よもやまでは、大野市の美味しいお米と大豆で、昔懐かしいお菓子を作っています。

素朴な味の白米ぽん菓子・香ばしい豆ぽん菓子、白米ぽん菓子を固めた板ぽん菓子の4種

類を製造、販売しています。

板ぽん菓子は、大野市内の「お菓子のひろせ様」のご協力を得て商品開発を行い新商品として1年前に誕生しました。ぜひ、一度ご賞味下さい。



1 白米ぽん菓子が完成



2 水あめを温めます。温度がポイント



3 型に入れて成形



4 スティック状にカット



5 出来立てほやほや



6 袋に入れます



7 いよいよ完成



梅作業

よもやまでは毎年、7月後半になると「晴れますように」と祈りながら梅作業を行っています。梅を干す期間は、土用の丑の日ころと昔からの言い伝えですが、梅作業は太陽が味方です。近年は温暖化の影響もありますが今年も梅を干すことが出来ました。秋には皆さんに美味しい梅干しをお届けできると思います。



むつみ園 福祉サービス第三者評価結果

平成29年度に続き第4回目の福祉サービス第三者評価を受審しました。前回の受審以降改訂があり新たな評価基準での受審になりました。評価対象は、①福祉サービスの基本方針と組織 ②組織の運営管理 ③適切な福祉サービスの実施の45項目と内容評価基準の15項目の全60項目について評価を受けました。各評価対象の評価数や特に評価の高い点・特に改善が求められる点については、下記の通りです。これまで継続してサービスの質の向上に取り組んできたことが、大変良い結果につながりました。今後も定期的に振り返りを行い、質の向上に取り組んで参ります。

総合評価

56

4

■ A評価 ■ B評価

① 福祉サービスの基本方針と組織

9

1

理念・基本方針、経営状況の把握、福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組は、良好であり事業計画の策定も各種委員会で協議の上で作成され、職員にも周知されている。家族と利用者へも周知する機会を設け、説明方法の工夫が行われている。

家族等へのアンケートを作成し、要望や意見を聞き取る機会を増やすとともに、利用者への周知方法の工夫が期待される。

② 組織の運営管理

18

人事考課システムを導入し、事業計画や中長期計画に人材確保や人員体制への考えが明記されている。また内部・外部研修体制を整備しており、総合的な人事管理体制が整っている。地域住民とのイベント等による交流や福祉に関する研修、防災講習会の実施を通して、福祉避難所に指定されていることを周知している。大野市自立支援センターとふく福くらしサポート事業運営に取組み、地域の生活困難者の支援を行っている。

③ 適切な福祉サービスの実施

15

3

利用者本位の福祉サービスや福祉サービスの質の確保について定期的な研修や見直しを行い、取り組んでいる。

福祉サービスの利用終了時には、利用者・家族に退所後の担当窓口や相談方法等が明記された文書の配布が望まれる。意見や要望等について、具体的な検討・対応方法、記録方法を含めた総合的な対応マニュアルの策定が望まれる。福祉サービス実施の記録管理責任者の設置が望まれる。

内容評価基準

15

職員が利用者の尊厳を守る支援の基本に立ち返るため、振り返りの時間（2か月に1回）を設けている。また、権利擁護委員会では、年2回、「職員セルフチェック」を実施し、その集計結果に基づき職員間で支援のあり方を話し合う機会を設けている。

令和2年度 決算 報告

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		決算
事業活動による収支	収入	
	就労支援事業収入	11,840,724
	障害福祉サービス等事業収入	256,592,850
	生活保護事業収入	379,523,943
	その他の事業収入	373,167
	法人運営事業収入	109,954
	経常経費寄附金収入	3,239,330
	受取利息配当金収入	7,256
	その他の収入	7,704,345
	事業活動収入計(1)	659,391,569
支出	人件費支出	357,171,135
	事業費支出	132,405,104
	事務費支出	65,282,907
	就労支援事業支出	11,704,912
	支払利息支出	123,441
	その他の支出	14,000
	事業活動支出計(2)	566,701,499
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	92,690,070
施設整備等による収支	収入	
	設備資金借入金収入	200,000,000
	施設整備等収入計(4)	200,000,000
	支出	
	設備資金借入金元金償還支出	80,000,000
	固定資産取得支出	229,615,686
その他の活動による収支	収入	
	積立資産取崩収入	28,318,755
	拠点区分間繰入金収入	2,130,000
	その他の活動による収入計(7)	30,448,755
	支出	
	積立資産支出	56,773,514
予備費支出(10)	拠点区分間繰入金支出	2,130,000
	その他の活動支出計(8)	58,903,514
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 28,454,759
	予備費支出(10)	
	当期資金収支差額合計(1)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 46,937,975
	前期末支払資金残高(12)	274,770,859
	当期末支払資金残高(11)+(12)	227,832,884

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	収益	
	就労支援事業収益	11,840,724
	障害福祉サービス等事業収益	256,592,850
	生活保護事業収益	379,523,943
	その他の事業収益	373,167
	その他の収益	109,954
	経常経費寄附金収益	3,239,330
	サービス活動収益計(1)	651,679,968
	費用	
	人件費	354,827,894
サービス活動増減の部	事業費	132,405,104
	事務費	65,282,907
	就労支援事業費用	13,730,302
	減価償却費	40,988,465
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 14,902,878
	サービス活動費用計(2)	592,331,794
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	59,348,174
増減の部	収益	
	受取利息配当金収益	7,256
	その他のサービス活動外収益	7,704,345
	サービス活動外収益計(4)	7,711,601
	費用	
	支払利息	123,441
特別増減の部	その他のサービス活動外費用	14,000
	サービス活動外費用計(5)	137,441
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	7,574,160
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	66,922,334
	収益	
	施設整備等寄附金収益	
増減の部	拠点区分間繰入金収益	2,130,000
	特別収益計(8)	2,130,000
	費用	
	固定資産売却損・処分損	1,805,574
	拠点区分間繰入金費用	2,130,000
	特別費用計(9)	3,935,574
増減の部	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,805,574
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	65,116,760
	前期繰越活動増減差額(12)	424,844,405
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	489,961,165
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	25,260,000
増減の部	その他の積立金積立額(16)	54,380,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	460,841,165

貸借対照表

(単位:円)

資産の部	
勘定科目	当年度末
流動資産	338,491,948
現金預金	280,991,434
事業未収金	52,829,616
未収金	2,850,000
未収補助金	1,617,000
商品・製品	110,866
原材料	93,032
固定資産	1,619,145,638
基本財産	316,965,830
土地	26,797,404
建物	290,168,426
その他の固定資産	1,302,179,808
建物	674,301
構築物	14,740,163
車輛運搬具	5,013,194
器具及び備品	33,193,201
建物仮勘定	216,500,000
建物付属設備	69,997,734
借地権	8,173,400
ソフトウェア	361,350
無形リース資産	5,451,600
退職給付引当資産	22,616,456
その他の積立資産	916,054,811
その他の積立資産	9,403,598
資産の部合計	1,957,637,586

負債の部	
勘定科目	当年度末
流動負債	127,641,166
事業未払金	29,172,088
1年以内返済予定設備資金借入金	80,000,000
1年以内返済予定リース債務	1,168,200
職員預り金	114,878
賞与引当金	17,186,000
固定負債	146,899,856
設備資金借入金	120,000,000
リース債務	4,283,400
退職給付引当金	22,616,456
負債の部合計	274,541,022
純資産の部	
勘定科目	当年度末
基本金	150,825,652
国庫補助金等特別積立金	145,971,338
その他の積立金	925,458,409
その他の積立金	916,054,811
建設積立金	9,403,598
次期繰越活動増減差額	460,841,165
(うち当期活動増減差額)	65,116,760
純資産の部合計	1,683,096,564
負債及び純資産の部合計	1,957,637,586

役員名簿

理事・監事

(任期: 令和3年6月17日~令和5年
定時評議員会終結時まで)

理事長	木間 幸生	再任
理事	中尾 裕子	再任
理事	中村 雅実	再任
理事	山田 潔	再任
理事	安川与治雄	再任
理事	辻 政輝	再任
理事	柴山 佳樹	再任
監事	伊藤 博司	再任
監事	林 幹雄	新任

評議員

(任期: 令和3年6月17日~令和7年
定時評議員会終結時まで)

評議員	石田 光義	再任
評議員	松田 山列	再任
評議員	川端登美子	再任
評議員	朝日 正幸	再任
評議員	伊藤久美男	再任
評議員	山本サチヨ	再任
評議員	飯田俊市郎	新任
評議員	川端 寛治	新任
評議員	羽生三千代	新任

寄附ありがとうございました

やなぎや薬局様より
マスク20箱
消毒用エタノール20本

頂きました。ありがとうございました。



新人紹介

支援員
かめひろ 亀廣 智生

利用者の方の立場に立った言動を心掛け、大野荘での生活に満足していただけるような支援をしていきます。



地域生活をサポート

緊急一時受入事業「すまいる」



おもに大野市、勝山市の奥越地域の方で、日常生活を送ることが困難な方や居住の確保が難しい方を対象に宿泊場所等のサポートを行います。

経済的な理由等により、現在の住居を出る必要がある方。

ホームレス状態にあり、福祉サービスを受ける等一時的な支援が必要な方。

虐待などにより、緊急的に避難場所が必要な方。



その他、特段の事情により、生活場所の確保が一時的に困難になった方。

【ご利用期間】原則1週間以内

【利用料】無料

※詳しくは、下記のお問い合わせ先までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】大野市自立相談支援センター ふらっと

住所：大野市天神町3番地24号
TEL：0120-932-763 FAX：0779-64-5582

【実施事業者】社会福祉法人 大野福祉会 救護施設 大野 荘

住所：大野市篠原17-23
TEL：0779-66-3320 FAX：0779-66-3319

編集後記

リニューアルしました「雪やなぎ101号」をお読み頂きありがとうございます。昨年からのコロナウイルス感染拡大の影響で、東京オリンピック・パラリンピックの開催が心配されておりましたが、計り知れないプレッシャーの中での強靱な精神の選手たちのプレーは、連日感動を与えてくれました。日々努力を積み重ねた結果ですね。

大野福祉会は創立60周年記念式典を終え、新棟のかえで寮が加わり、新しい1歩が始まりました。機械浴が導入になり、車いす使用の方が肩までゆつたりとお風呂につかり「気持ちいいわー」の声が聞こえると、こちらまで嬉しくなります。皆様と共に、また1歩ずつ歩んでいきたいと思っています。

苦情解決報告

令和2年度の苦情受付は、大野荘1件・むつみ園0件・よもやま2件・グループホーム0件でした。いずれも話し合いにより解決しました。

日々の支援を振り返り、一人ひとりの立場で考え、職員間で情報共有しながら、よりよい支援を心掛けていきたいと思えます。

人事異動

(令和3年3月31日付)

◎退職
むつみ園 生活支援課支援員 岸下 優

(令和3年4月1日付)

◎新採用
大野荘 生活支援課支援員 亀廣 智生

◎昇格
むつみ園 生活支援課課長補佐 (サービス管理責任者) 長谷川育子

大野荘 生活支援課係長 西田 美幸

大野荘 生活支援課係長 鈴木 信博

◎配置替
大野荘 総務課係長 松間 奈美

大野荘 総務課看護係長 江波 和美

大野荘 生活支援課係長 (兼)計画相談 相談員 村中 郁子

むつみ園 生活支援課係長 加藤 直子

むつみ園 総務課事務員 田中祐貴子

むつみ園 総務課看護師 清水 彰子

むつみ園 総務課栄養士 宮澤真美花

むつみ園 生活支援課支援員 田中 祐也

むつみ園 生活支援課支援員 石塚 遥香

よもやま 生活支援員 川端 洋平

グループホーム 生活支援員 木原 哲平